

餅搗時分にや、杵の音。

〔「子供達の歌」第1集「赤い櫓」  
所載、初放送・大正15年10月12日〕

## からくり

見世物小屋の小父おぢさんは、

塩しほっぱい声をはりあげて――

“とんと、落した、からくりは、

昔や東海道、初のぼり。

お駕籠で、お供で、

ほいの、ほいの、ほい”

見せ物小屋の小母さんも、

塩っぱい声をはりあげて――

“とんと、お次の、からくりは、

お江戸日本橋や、七つ立だち

行列揃へて、

ほいの、ほいの、ほい”

〔第1節のみ「子供達の歌」第1集「赤い櫓」所載、レコード初吹込、ニッポノホン15109・歌手外山国彦〕

## 秋の夜

あなたが、ねんねの枕もと。

お母さま、おひとり、ほどきもの。

解いても、解いても、夜は浅い。

雁、雁、わたった後の空。

お月さま、おひとり、濡れた顔。

照っても、照っても、夜は浅い。